

(3) ASV 推進計画

図表 2-53 ASV 推進計画の推移・概要

	第1期 ASV 推進計画 1991年～1995年度 1996年3月	第2期 ASV 推進計画 1996年～2000年度 2001年3月	第3期 ASV 推進計画 2001年～2005年度 2006年3月	第4期 ASV 推進計画 2006年～2010年度 2011年6月	第5期 ASV 推進計画 2011年～2015年度
理念 目標	急速な進歩を遂げているエレクトロニクス技術を応用し、車両周囲の交通環境や路面状況を検知するセンサ、情報通信処理装置等を搭載することにより、事故を未然に回避しあるいは衝突による被害を軽減するために必要な自動制動、自動操舵等の技術の研究し、将来の理想的な自動車の指針等を示すことにより民間における自動車安全技術の研究・開発のよりいっそうの推進を図る。	最新のエレクトロニクス技術を自動車に装備することにより、自動車が高度な情報収集、情報処理とこれに基づく車両制御ができる技術的ポテンシャルを持つように研究開発を行うものである。 第2期計画では、第1期の成果を受けて、実用化に向けた環境整備を図ることを目的とする。	第2期における実用化の基盤整備を踏まえ、第3期計画では、「普及促進」と「技術開発」を柱とした活動を実施。	第4期計画では、さらなる事故削減に向け、ASV技術の普及を進めるとともに、新たな技術の開発・実用化を図る。	第5期では、更なる事故削減に向け、歩行者保護や高齢者対策等を中心として、ASV技術の飛躍的高度化の検討を進めるとともに、次世代の通信利用型システムの開発促進を図る。
	◆ASVの基本理念 1. <b>ドライバー支援の原則</b> ドライバーの意思を尊重し、安全運転を支援すること 2. <b>ドライバー受容性</b> ユーザーフレンドリーであるためにヒューマン・インターフェイス設計が適切になされていること 3. <b>社会的受容性</b> 社会的コンセンサスが得られること	◆ASVの基本理念 1. <b>ドライバー支援の原則</b> ドライバーの意思を尊重し、安全運転を支援すること 2. <b>ドライバー受容性</b> ユーザーフレンドリーであるためにヒューマン・インターフェイス設計が適切になされていること 3. <b>社会的受容性</b> 社会的コンセンサスが得られること	◆ASVの基本理念 1. <b>ドライバー支援の原則</b> ドライバーの意思を尊重し、安全運転を支援すること 2. <b>ドライバー受容性</b> ユーザーフレンドリーであるためにヒューマン・インターフェイス設計が適切になされていること 3. <b>社会的受容性</b> 社会的コンセンサスが得られること	◆ASVの基本理念 1. <b>ドライバー支援の原則</b> ドライバーの意思を尊重し、安全運転を支援すること 2. <b>ドライバー受容性</b> ユーザーフレンドリーであるためにヒューマン・インターフェイス設計が適切になされていること 3. <b>社会的受容性</b> 社会的コンセンサスが得られること	◆ASVの基本理念 1. <b>ドライバー支援の原則</b> ドライバーの意思を尊重し、安全運転を支援すること 2. <b>ドライバー受容性</b> ユーザーフレンドリーであるためにヒューマン・インターフェイス設計が適切になされていること 3. <b>社会的受容性</b> 社会的コンセンサスが得られること
取 り 組 み ・ 検 討 実 施 項 目	◆ASV安全技術の基本項目(4分野)の設定、分野ごとの主要安全技術についての研究開発の実施  1. <b>予防安全対策</b> (1)居眠り運転等警報システム (2)車両危険状態モニタリングシステム (3)良好な運転態の確保システム (4)夜間の障害物等検知システム (5)警報灯・自動点灯システム (6)渋滞・事故情報、路面状況等関連ナビゲーションシステム  2. <b>事故回避対策</b> (1)車間距離警報システム (2)後側方警報システム (3)車線逸脱時警報システム (4)車間距離自動維持運転システム (5)事故回避自動操作システム (6)コーナー進入減速システム (7)交差点自動停止システム  3. <b>衝突時の被害軽減対策</b> (1)衝突時の衝撃吸収車体構造 (2)乗員保護等の技術 (3)歩行者被害軽減システム  4. <b>衝突後の災害拡大防止対策</b> (1)火災消火システム (2)緊急時ドアロック解除システム (3)事故発生時自動通報システム (4)ドライブレコーダ等運転操作記録システム  ◆ASV安全技術の基本項目(4分野)に関する技術指針の策定	◆技術8分野・37項目 I. <b>予防安全技術</b> (1)ドライバ危険状態警報システム (2)車両危険状態警報システム (3)運転視界・視認性向上支援システム (4)省燃運転制御・補助性向上支援システム (5)死角警報システム (6)周辺車両等情報入手・警報システム (7)道路環境情報入手・警報システム (8)外部への情報伝達・警報システム (9)運転員荷軽減システム  II. <b>事故回避技術</b> (10)車両運動性能・制動向上システム (11)ドライバ危険状態回避システム (12)死角事故回避システム (13)周辺車両等との事故回避システム (14)道路環境情報による事故回避システム  III. <b>全自動運転技術</b> (15)既存インフラ利用自律型自動運転システム (16)新規インフラ利用自動運転システム  IV. <b>衝突安全技術</b> (17)衝突時衝撃吸収システム (18)乗員保護システム (19)歩行者被害軽減システム  V. <b>災害拡大防止技術</b> (20)緊急時ドアロック解除システム (21)多重衝突軽減システム (22)火災消火システム (23)事故発生時自動通報システム  VI. <b>車両基盤技術</b> (24)自動車電話安全対応システム (25)高度デジタルタコグラフ・ドライブレコーダシステム (26)電子式車両識別票 (27)車両状態自動応答システム (28)高度GPS測位システム (29)ドライバ・パイ・ワイヤ (30)高齢運転者の支援技術 (31)疲労の生理学的計測とその対応技術 (32)ヒューマン・インターフェイスの基盤技術  ◆ASV技術の開発指針の策定	◆普及促進にかかわる活動 I. <b>運転支援の考え方8項目の策定</b> (1)意思疎通 (2)安全運転・安全的操作 (3)作動内容を確認 (4)過信を与えない (5)強制介入可能 (6)明確な移行 (7)安全性が損壊しないこと (8)社会に受け入れられる書体が形成されていること  II. <b>ASVの普及戦略の策定</b> ・第一ステップ： ASV技術の整理、ASV技術の認知度向上を図る ・第二ステップ： 効果の評価方法の検討、効果の評価、普及促進の優先度の明確化 ・第三ステップ： 優先度の高いASV技術にインセンティブ付与等の検討、普及促進を図る  ◆技術開発にかかわる活動 III. <b>通信技術を活用した運転支援システムの実用化の可能性検討</b> (1)路側情報利用型運転支援システム (2)情報交換型運転支援システム	◆ASV技術の普及促進に関する検討 I. <b>ASV技術の効果評価</b> II. <b>ASV技術に係る理解促進</b> (1)ASV体験システムの開発と活用 (2)ユーザーの理解促進活動  III. <b>ASV技術の普及促進</b> (1)ASV実用化状況の調査と情報 (2)ASV技術内実用化  ◆ASV技術の技術開発に関する検討 IV. <b>総合安全戦略の策定</b> V. <b>ITS推進協議会の実証実験への参画</b> VI. <b>通信利用型運転支援システムの実用化に向けた基本設計</b> VII. <b>大型車の安全対策を充実するための技術開発の促進</b>	◆目標 飛躍的高度化の実現  I. <b>ASV技術の飛躍的高度化に関する検討</b> (1)ドライバ異常対応システムに関する検討 (2)ドライバの過信に関する検討 (3)運転支援システムの適合化に関する検討 (4)大型車の安全対策を充実するための技術開発の促進  II. <b>通信利用型安全運転支援システムの開発促進に関する検討</b> (1)歩車間通信システムに関する検討 (2)次世代の通信利用型運転支援システムに関する検討 (3)通信利用型運転支援システムの効果評価に関する検討  III. <b>ASV技術の理解および普及促進に関する検討</b> (1)ASV技術の理解と普及促進(对用户)  IV. <b>国際基準調和に向けた情報発信</b>